



濱千代 美治さん
三重県伊勢市
浜千代館

波温泉湯本旅館の湯本様よりバトンをいただきました。三重県伊勢は「見浦の、シャブが流れる海辺のお宿浜千代館女将、そして時々？ドキドキ？ジャズシンガー濱千代美治（はまちよ・みはる）です。

伊勢神宮が鎮するエリア、神領地。その神領地でも、広重の「富士三十六景 伊勢見か浦」にも描かれている名勝夫婦岩（めおといわ）が鎮座いたします聖なる渚「見浦」の海辺で、明治22年より小さな田舎宿を営ん



をもつてJKK
全旅館・女性経営者の会
リレーコラム
Vol.127

でおります浜千代館です。普通、1,000年以上続いている家業を継いね！と言つてくれませんが、恐れ多くもこの地域では、永遠に「新参者」です。

も名古屋でしたので、活動していたのは主に名古屋でした。バブル時代の華やかな時期を過ごし嫁いだ先が周りにコンビ（もなぐ）（今）はありますが、友だちが遊びに来てくれた夜に「美治、大丈夫？あたり真つ暗だよ」

と、賑やかで明るいま

ちが好きたった私を心配してくれたことが昨日のこのようです。

そんな私が、このま

ちに興味を持ち、寂れているからこそ「まちおこし」という遊びを覚え、一人でも多くの方に足を運んでいただくという思いからイベントを立ち上げ、自らもジャズシンガーとなり、今ではラジオ番組のパーソナ

リテイーとしても地域、そして、我が家を盛り上げるために営業活動をしております。

どうやったら、お客さんが来てくれるんだろうか？という純粹な疑問から、発生した自論。お料理や設えなど、見たら、誰でも真似できる。でも、唯一の『私』は、絶対に真似できない！だから会ってみたいなあと思つていただけ、

興味を持つていただけ

る、そんな女将になりたいて思つて今まで来たように思います。

笑顔で唯一無二セールス

大女将は、もう84歳ですが、私のような天衣無縫な嫁をもらつてしまったために、いまだにフロント業務を死守してくれています。小さな宿屋ではありますが、毎日が本当に「飽きない」、何が起ころかわからない毎日を楽しんでおります。

コロナの時期に能天気な文言で申しわけありませんがジャズのスナ

ンダードナンバー「スマイル」の歌詞に「笑いなさい笑いなさい、笑つていれば、いつか、あんなこともあつたなあつて言える日が必ずやつて来るから」というチャーリーチャップリンが書いた歌詞があります。それを歌うと今、涙が出てくるのは私だけではないと思ひます。でもその歌を信じて、守つて生きたいと思ひます。

古都の宿むさし野の山下さんにバトンを渡